



新年にあたって

自民党 厚生労働部会副部長
参議院議員・薬剤師 本田顕子

新年あけましておめでとうございます。会員の皆様には、お健やかに輝かしい新たな年を迎えられたことと、心よりお慶び申し上げます。

皆様のご支援により国政の場にお送りいただいてから早くも1年半が過ぎました。この間、党務、政務に力一杯取り組んで参りました。国会におきましては、昨年8月の閉会中審査を含め5回の質問、また、10月に召集された臨時国会でも質問の機会をいただくことができ、薬剤師の立場から、その時々状況を踏まえて政府の見解をお聞きすることができました。

昨年の通常国会は、新型コロナウイルス感染症対策が中心的な課題となりました。4月には緊急事態宣言が発令され、新型コロナウイルス感染症が拡大する中で、支援対策として2度にわたる補正予算が組まれました。外出自粛や他県への移動自粛の要請等のため、外来患者の減少と長期処方増加等により、医療機関や薬局経営に多大な影響がでております。厳しい状況はさらに続くものと懸念しておりますが、第二次補正予算による支援策をぜひ活用していただきませうようお願い申し上げます。

国民の皆様の健康な生活を維持するためには私たち薬剤師の力が必要なことは誰も否定できないところであります。私も国政の場で薬剤師の声を発信してまいりますので、引き続きのご支援をお願い申し上げます。

さて、昨年日本薬剤師連盟の組織内候補に決定されました神谷まさゆきさんは、新型コロナ禍にもかかわらず力一杯の活動を展開しておられます。私も応援を続けておりますが、全国の薬剤師会の皆様のご支援もよろしくお願い申し上げます。

最後に、本年が薬剤師会の皆様にとって素晴らしい一年になりますことを祈念申し上げ、新年にあたっての挨拶といたします。



本田あきこ



メルマガ登録



本田あきこの部屋



@89314honda